

令和4年度 決算

問い合わせ先 総務課 財政係 ☎23-3900 ㊟23-3920

財政用語解説

歳入

市税…市民税、固定資産税など
繰入金…基金を取り崩したお金など
地方交付税…一定の行政サービスを確保するため、人口や税収に応じて国から交付されるお金
国庫・県支出金…国や県から使用目的を特定して交付されるお金
市債…施設建設や道路整備など多額の費用が掛かる場合に、国や銀行などから借りるお金

歳出

総務費…戸籍管理や選挙の執行、統計などの経費
民生費…障がい者や高齢者、子どもの生活支援、生活保護などの経費
衛生費…ごみ処理やし尿処理、健康診断、保健指導などの経費
農林水産業費…農林水産業の振興などの経費
商工費…商工業や観光の振興などの経費
土木費…道路や公園、市営住宅などを整備する経費
消防費…消防活動などの経費
教育費…学校教育などの経費
公債費…借入金の返済に充てられる費用

特別会計

特別会計とは、特定の目的のために設置し、一般会計とは区分して経理する会計のことです。8つの特別会計があり、それぞれ保険料や使用料などの特定の収入で事業を行っています。

特別会計名	収入額A	支出額B	差引額A-B
施設貸付事業	7,463万円	3,623万円	3,840万円
国民健康保険事業	71億3,519万円	71億2,772万円	747万円
国民健康保険伊吹診療所	6,646万円	6,189万円	457万円
後期高齢者医療事業	10億1,704万円	10億1,427万円	277万円
介護保険事業	58億3,313万円	55億4,465万円	2億8,848万円
介護予防サービス事業	2,923万円	2,923万円	0円
栗井財産区	402万円	71万円	331万円
栗井坂瀬山林	1,611万円	4万円	1,607万円

公営企業会計

地方公営企業法が適用される事業を一般会計と区分して経理する会計のことで、下水道事業（公共下水道事業、農業集落排水事業）が該当します。

公営企業会計名	区分	決算額	差引額A-B
下水道事業	収益的収支	収入額A	12億 574万円
		支出額B	11億8,765万円
	資本的収支	収入額A	3億8,667万円
		支出額B	8億8,724万円
			△5億57万円

資金不足比率

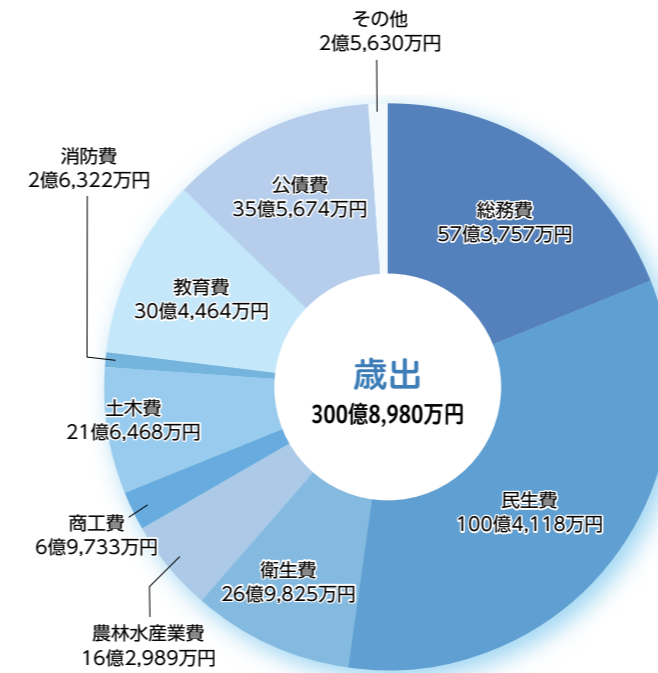
公営企業会計の資金不足額の事業規模に対する割合をみる指標です。令和4年度決算における比率は、基準値を下回っています。

(単位：%)

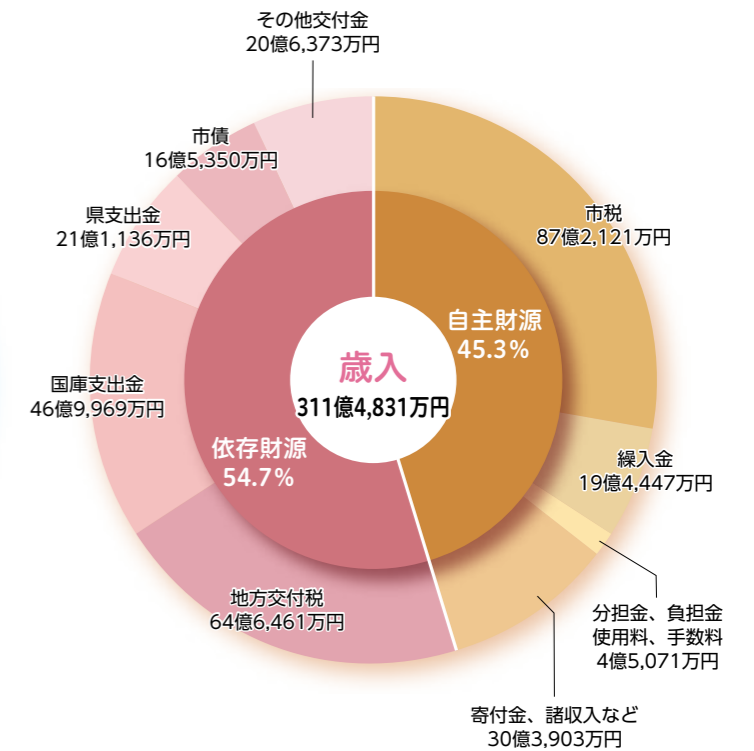
特別会計の名称	令和4年度決算	経営健全化基準
下水道事業	-	20.0

※資金不足比率は、資金不足額がないため「-」と表示。

一般会計歳出の内訳



一般会計歳入の内訳



決算については市ホームページで、決算書は、市役所総合案内所や各支所で閲覧できます。

令和4年度の一般会計歳入決算額は、311億4831万円（前年比4.7%減）、歳出決算額は、300億8980万円（前年比3.2%減）でした。歳入歳出の差引額は10億5851万円、翌年度へ繰り越した事業の財源を除いた実質収支は、8億4009万円の黒字でした。歳入では、「がんばれ観音寺応援寄付金（ふるさと納税）」の増加により、寄付金が3億1848万円増加しましたが、国庫支出金や市債借入額の減少により、総額は前年度より15億4066万円減少しました。

歳出では、新型コロナウイルス感染症対策関連の給付金やワクチン接種などの事業費が減少したことにより、前年度から民生費が2億9098万円、衛生費が3億1036万円の減少、総額で9億8154万円減少しました。

今後も健全な財政運営を維持するため、限られた財源の効率的な運用と、財源の確保に努めていきます。

令和4年度に実施した主な事業

 <h2>総務費</h2>	 <h2>民生費</h2>
<p>のりあいバス運行事業 6,152万円 市内5路線を走るバス運行のための費用</p> <p>シティプロモーション事業 374万円 首都圏でのフェア開催などPR事業</p>	<p>放課後児童健全育成事業 2,271万円 学童保育や放課後児童クラブへの補助</p> <p>豊浜認定こども園建設事業 1億815万円 令和6年4月の開園に向け施設建設</p>
 <h2>衛生費</h2>	 <h2>農林水産業費</h2>
<p>乳児紙おむつ等支給事業 589万円 おむつなど衛生用品と交換できる助成券交付</p> <p>再生可能エネルギー整備事業 420万円 ゼロエネルギー設備設置などへの補助</p>	<p>伊吹地域漁港整備事業 1億2,850万円 伊吹漁港の港内施設などを計画的に整備</p> <p>新規就農総合支援事業 5,069万円 希望者が円滑に就農できるための環境整備</p>
 <h2>商工費</h2>	 <h2>土木費</h2>
<p>瀬戸内国際芸術祭開催事業 3,696万円</p> <p>中小企業振興事業 589万円 合同就職説明会の開催や創業者への補助など</p>	<p>スマートインターチェンジ整備事業 2億755万円 令和7年度末の供用開始に向けた整備</p> <p>柞田川右岸線改築事業 3,018万円 企業立地に伴うアクセス道の整備</p>
 <h2>消防費</h2>	 <h2>教育費</h2>
<p>消防屯所建設事業 4,974万円 市内分団屯所の計画的な建設</p> <p>同報系デジタル無線整備事業 215万円 個別受信機（防災ラジオ）の無料貸与</p>	<p>情報教育推進事業（小中学校） 4,611万円 児童・生徒1人につき端末1台や、通信環境の整備、デジタル教材の購入など</p> <p>日本学生トライアスロン選手権大会開催事業 682万円</p>

問い合わせ先 企画課 企画調整係 ☎23-3917 ㊟23-3920

健全化判断比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、令和4年度決算における観音寺市の財政状況を判断する各比率で、いずれも基準値を下回っています。

(単位：%)

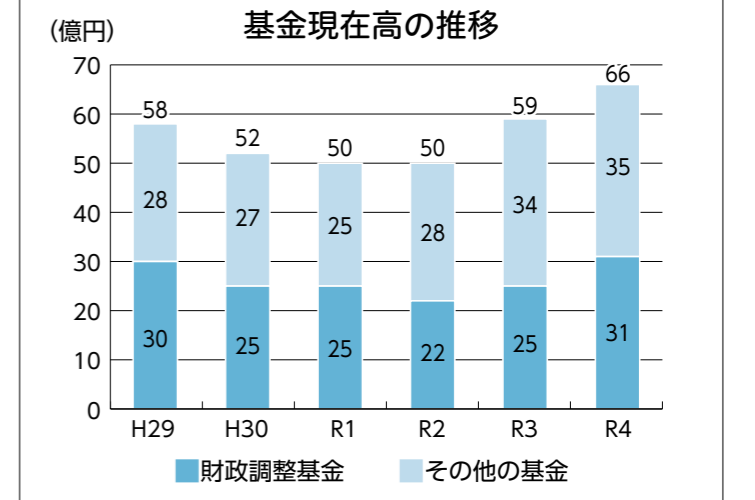
健全化判断比率	令和4年度	早期健全化基準 (黄信号)	財政再生基準 (赤信号)
実質赤字比率 (一般会計等の赤字の程度をみる指標)	—	12.70	20.00
連結実質赤字比率 (一般会計等及び公営企業会計を含めた市全体の赤字の程度をみる指標)	—	17.70	30.00
実質公債費比率 (市全体及び一部事務組合を含めた公債費(借入金の支払い)の標準財政規模に対する割合をみる指標)	9.8	25.0	35.0
将来負担比率 (市全体、一部事務組合、公社・出資法人などを含めた将来的な負担の標準財政規模に対する割合をみる指標)	41.1	350.0	

※実質赤字比率及び連結実質赤字比率は黒字のため「—」と表示。

基金現在高(一般会計)

基金は、家計における貯金です。基金には、年度間の財源の不均衡を調整するための財政調整基金や、特定の目的のために積み立てている特定目的基金などがあります。

令和4年度末の基金現在高は約66億円で、前年度末より7億円増加しました。



地方債現在高(一般会計)

令和4年度末の地方債現在高は約333億円で、前年度より約18億円減少しています。

合併特例債

合併後の市町村の一体性の確立や均衡ある発展などを目的とした事業を実施するために発行する地方債です。元利償還額の70%が数年後の地方交付税に算入されます。

臨時財政対策債

国から交付される地方交付税の不足分を補うために、地方公共団体が発行する地方債です。償還額の全額が数年後の地方交付税に算入されます。

